届け 世界の果てまでも

令和５年３月１４日　No．７３　文責　校長　飯久保一男

６年生の１年間

６年生の卒業の日が近づいてきました。私は６年生とは３年間付き合わせてもらいました。
特に，６年生として学習・活動をした今年度の１年間は大きく成長しました。
今号は６年生の卒業をお祝いし，今年度の６年生の活躍や努力を振り返ってみたいと思います。

【１学期】

他の学年は，まだ春休み中の入学式の前日に６年生は登校し，教職員と入学式の準備をしました。入学式には，上級生を代表して参加しました。入学式の翌日からは，１年生を気にかけている６年生の姿をよく見かけました。

リモートでの児童総会のあと，色別活動が始まりました。最初の色別集会は６年生の気合を感じました。下級生が楽しいと感じる，まとまった会を企画・運営しました。

修学旅行は，２泊３日で実施でき，２年ぶりに鎌倉に行きました。５年生のときの林間学校の様子から，心配もありましたが，全て計画通りに行動して，よく約束を守った修学旅行をし，感動した校長でした。

球技会は今年も櫛形地区の小学校４校で行うことができました。事前練習に取り組み，勝ったり負けたりと楽しくほかの学校と交流ができました。

３年ぶりの水泳の学習，校外学習，平和の学習など，コロナ禍でも様々な学習ができました。

【２学期】

運動会は，今年も半日開催の運動会となりましたが，昨年まではできなかった全校競技の「児童会種目」をすることができました。６年生は運動会の練習の開始前から，作戦を練っていました。もちろん自分たちの練習も重ね，係活動にも取り組みました。

運動会当日は，フラッグを使った表現，リレーでのお手本となるバトンパス，係活動，そして，応援，児童会種目でのリーダーシップと大活躍していました。史上初の３色同点優勝が，それを証明しています。

運動会が終わるとすぐに，６年生は，陸上記録会の取り組みを始めました。今年度は，３年ぶりに４支会（櫛形・甲西・若草）の９つの小学校が一堂に会する陸上記録会ができました。その分，入賞が難しくなったのですが，２０人以上が入賞するなどの素晴らしい結果を出しました。その中でも，女子４００ｍリレーは，中巨摩の新記録を更新しました。

児童会活動においても，ゲーム集会をはじめとする縦割り活動で，下級生にやさしく，下級生のことを思いやって活動していました。

【３学期】

スキー教室はコロナ禍でも，３年間中止や延期することなく実施できました。昨年の経験がある６年生はとても上手になって帰ってきました。３年間コロナ禍で過ごした６年生ですが，林間学校を１泊・修学旅行を２泊･スキー教室を２年間で２回と全て実施できたことに少しは責任が果たせたとホッとしています。

授業では，使い始めてまだ２年足らずの，一人一台端末「クロームブック」を使いこなし，授業に役立てていました。なわ跳びの取り組み「小笠原チャレンジ」「きずなエイトマン」でも下級生に「カッコイー」姿を示していました。

先日は新しい児童会本部や５年生が中心となって，「６年生を送る会」が開催されました。下級生たちから６年生へ，たくさんの感謝の言葉が寄せられました。１年間がんばってきたことへの感謝でした。

６年生８０人の子どもたちは，小学校で過ごした６年間の半分の３年間をコロナ禍で過ごすことになってしまいました。３か月に及ぶ臨時休業や，分散登校，学年閉鎖もありました。行事や活動を縮小しなければならず，また家庭科の調理実習，音楽や体育などの授業内容にも制限がありました。しかし，６年生の子どもたちはそれに負けないエネルギーをもっていて，元気に明るく乗り越えてきました。

小学校での６年間という長い時間を過ごし，大きく成長しました。ときには，元気があふれ過ぎ，失敗することや叱られることも多くあった学年でしたが，６年生と３年間付き合う中で，「カッコイー」姿をたくさん見ることもできました。

私は現在，６年生の最後の授業である卒業式で，６年生に贈る「はなむけの言葉（式辞）」を推敲中です。たくさん伝えたいことがありますが，時間の制限がありますので，今年度の６年生の活躍の紹介については，この紙面での振り返りにて勘弁してもらい，卒業式のはなむけの言葉では，別の内容を６年生に贈りたいと思っています。